



# 酒井たかえ ニュース

2017年6月6日発行

ぜひ左記宛にご意見・アドバイス・情報等を、メール・FAX・郵便等でお寄せ下さい。秘密は厳守します。

## 新斎苑に道筋を付けました！

### 火葬場問題

再議に付したい(奈良市議会会議録より)と、再度、審議することを求めました。

### 賛成派わずか13名

古い火葬場(白毫寺町)はすでに百年が経過し、少子高齢化で「多死時代」に突入、火葬を待機させられる市民が続出しており、他市で火葬してもらおうと何倍もの費用を取られ、市民が本当に困っています。新斎苑建設費に充てる合併特例債22億円を国からもらうには、昨年の12月議会でも予算を可決しないと間に合わない状態でした。

### 再議で求めたものは

さて、昨年3月の奈良市議会では、奈良市初の「再議」がありました。これは3月25日に、市が提案する「新斎苑」建設予定地(横井町の山林)に、反対している「自民党」(8人)と「奈良未来の会」(議長選挙で「大阪地検特捜部に自宅捜索され、逮捕者を出した元「政翔会」前「奈良維新の会」(8人)が、「一般会計予算」案から新斎苑等の予算案を削る「修正案」を提出。「共産党」(7人、無所属の柿本議員・松石議員もこの修正案に賛成して可決されました。これを受け、仲川市長は「新斎苑事業の遅れが市民生活に多大な影響を与える(の)で(略)

### 反対派の理由は

「地元が反対しているから」「予定地は危険」と主張していましたが、仲川市長に大きな成果を上げさせず、夏の市長選・市議会議員選のダブル選挙で、仲川市長が再選することを阻止する目的だ、と言う市民もおられました。

### 酒井の討論

3月30日、採決の直前に酒井は「修正案」に対する反対討論を行いました。

### 潮目が変わる

「再議」では議会の3分の2の賛成が必要で、25日に可決された「修正案」を、今度は否決できるはずでした。しかし、ここで修正案を否決すると、奈良市の予算は暫定予算となり、市民生活に影響が出ます。そのため、上原議員が意思を表明して賛成され、修正案は再び可決されたのでした。

議員の閉会后、複数派の「新斎苑」賛成派の発言に、酒井は「多量の賛成を期待し、採決の直前に酒井は「修正案」に対する反対討論を行いました。

### 圧力を受ける

その2ヶ月後の5月20日、議会報告会直後、10名ほどの反対派住民や議員から酒井は取り囲まれ、25分間、怒鳴られる等の圧力を受けました。3月議会での討論に対しての圧力のようでした。

### やっと可決

酒井はこのことをツイッターに書き込みました。すると「頑張れ」「暴力に負けるな」等、ツイッターの方々からのお声をいただきました。これをリツイートすると、ツイッターでも攻撃してきていた反対派が、攻撃してこなくなりました。

そして12月議会。再び新斎苑関連予算案が市から提案されました。最終日(平成28年12月16日)、採決で「共産党」が賛成に回られ、ついに「新斎苑」関連予算案が可決されました。酒井が「新しい道筋を付けました」と喜びました。

## 奈良市議会議員 一般質問・代表質問 質問回数

- (2013年9月～2017年3月までの計15議会 議席番号順)
- 15回：酒井孝江、横井雄一
  - 12回：階戸幸一、植村佳史
  - 11回：白川健太郎、鍵田美智子
  - 10回：山本直子、宮池明、伊藤剛、北村拓哉、森岡弘之、井上昌弘
  - 9回：太田晃司、九里雄二、藤田幸代、山本憲宥、内藤智司
  - 8回：道端孝治、小川正一、高杉美根子
  - 7回：八尾俊宏、柿本元気、松石聖一、松岡克彦
  - 6回：山口誠、山口裕司
  - 5回：松村和夫、三浦教次、山中益敏
  - 4回：東久保耕也、北良晃
  - 3回：松下幸治、今西正延、中西吉日出、松田未作
  - 2回：森田一成
  - 1回：浅川仁
  - 0回：土田敏朗、上原篤

## イクメン・ハンドブックを作成しました！

酒井は「父子手帳」作成を求め(平成23年4月27日厚生委員会)、パパのための子育てガイド「イクメンハンドブック」が完成しました。(平成26年3月6日定例会)



## イチゴ「古都華」を庶民のものに

奈良市は濃厚な味わいの魅力的なイチゴ「古都華」を、高価格で取引される販売戦略を考えていました。しかし、ブランドで高いために貧困家庭の子どもが食べられないのでは、イチゴの存在意味はありません。生産者を増やして値段を下げる努力を求め(平成26年3月6日定例会・平成27年3月5日定例会)、徐々に値段が下がってきました。



昨年11月5日、「(公財)市川房江記念会女性と政治センター」主催「女性参政70周年記念事業in関西」事業の分科会でパネラーを務めました。(写真中央が酒井。大阪ドーンセンターで)



## 「子どもの貧困」対策

奈良市の貧困世帯 16 %のうち 43 %が一人親世帯で、その大多数を占める母子家庭の年間就労収入は平均 192 万円。離婚等で別れた父親からの養育費は、定期的に支払われているのは 15 %です。

先進各国では、国や自治体が強制的に父親から取り立て、養育費はほぼ 100 %払われています。しかし安倍政権はこの問題に消極的です。

母子家庭の子どもの多くは、貧困のため塾にも通えず進学をあきらめています。また、子どもが生別した父親との面会交流は「会っていない」が半数以上です。別居親と会えないと、子どもは「自分は別居親に捨てられた」と感じ、自己肯定感が保てず不登校に陥る等が問題になっています。

酒井は議会で取り上げ（平成 27 年 5 月 11 日厚生消防委員会他）、離婚時に養育費と面会交流についてあらかじめ取り決める「合意書・養育費プラン作成の手引き」が完成（写真）、離婚届を取りに来られた方等へ配布が始まりました。



## 3歳児保育を実現しました！

4 歳からしか入れなかった幼稚園。認定こども園を増やして 3 歳児保育を実現しました！（平成 21 年 9 月 11 日定例会・平成 22 年 9 月 9 日定例会他）

## 健康な街を作り、 国保料の引き下げを！

市民の健康を守る市の事業は今、月一回程度の大きな枠組みのものです。健康問題で困る市民は多く、普段の健康体操や習慣の改善策などの相談と普及で、元気な奈良の街づくりを目指し、健康診断の受診率を高め、国民健康保険の額を下げる必要があります。

## 子ども食堂の実現！

子どもの貧困対策として酒井が議会で提案した、子どもへの食事提供（平成 24 年 5 月 21 日厚生委員会他）が、一部の校区で実現！

## 児童虐待の予防に努めました

子どもの虐待死の原因で目立つのは、性暴力等での「望まぬ妊娠」です。酒井は、孤立し悩む女性への支援を求めました。（平成 27 年 11 月 13 日厚生消防委・平成 28 年 11 月 7 日厚生消防委等）

## 奈良少年刑務所がホテルに

酒井は「奈良少年刑務所を宝に思う会」結成時（2014年10月18日）から市民の皆様と、美しい建物と歴史の保護を求めてきました。このたびホテルや史料館に生まれ変わることに。地元との意見交換会では法務省の方々が「こんなに地元で愛されている刑務所は初めて見た」と言われました。感動しました。

## 憲法9条を護ろう！

戦争放棄を誓う平和憲法を、変えようとする動きが現実的になってきました。明治生まれの刑法や民法と比べても、昭和生まれの憲法が古いと言うのは虚言です。

9 条の「戦争放棄」は、当時の幣原喜重郎首相が占領軍に提案し、冒頭の「平和主義」の条項は、国会の衆議院小委員会で国会議員たちが熱い議論の末に書き加え、両案とも入れられて作られたことが判明しました。（憲法 70 年“平和国家”はこうして生まれた）4 月 30 日 NHK スペシャル「押しつけ憲法」論は間違いだったのです。

簡単に戦争を語り、平和と命の大切さに切実感がない。今ほど憲法 9 条が大切な時はありません。

## 学童保育での子どもの学力向上

貧困で、子どもを塾へ行かせる時間もお金もない家庭も多いです。酒井は、子どもが一日の大半を過ごすバンビーホームで勉強させてほしいと質問（平成 24 年 9 月 21 日予算決算委員会観光文教水道分科会等）。「学習プログラムバンビーキッズ」が始まりました。

## 待機児童の解消と出生率のさらなる向上

待機児童問題に、酒井はずっと取り組んできました。（平成 21 年 12 月 4 日定例会等）

定員割れをしている幼稚園の空き教室等を利用し、預かり保育をする等、様々な方策も進めてきました。（平成 22 年 11 月 18 日総合計画検討特別委員会等）その成果あり、待機児童が大幅に減りました。

奈良市の合計特殊出生率も、酒井が議員になった 2009 年から、ずっと上がり続けています。（平成 28 年 11 月 7 日厚生消防委・平成 29 年 1 月 31 日厚生消防委等）これらの施策を更に進めます。

## 学校給食の地産地消

酒井は学校給食の地産地消を求め（平成 23 年 8 月 2 日厚生委・平成 25 年 5 月 9 日観光文教水道委等）、学校給食の地元産食材の利用割合は年々増加。地元産食材使用の郷土料理を献立に加えるなど工夫が進んでいます。

## 特別職の退職金を一時、 廃止しました。

奈良市の特別職は一度、一般職として退職金を受け取っているのに、更に 2 度目、3 度目の退職金を 4 年毎に受け取ってきました。副市長は 1 回で約 2 千万円です。

2010 年 6 月の定例会で仲川市長は、5 つの特別職の退職金を廃止する条例案を提案。酒井と横井議員は賛成しました。

しかし市長案を修正する案が、浅川議員外 4 名から出され、他の全議員の賛成で可決。退職金を廃止するのは仲川市長のみとなりました。（平成 22 年 6 月 18 日）

その後、酒井は本会議や委員会で副市長等に対し、退職金を自主的に辞退するよう求めました。市長提出議案で徐々に特別職の退職金は廃止されていきました。

平成 26 年 9 月定例会と、平成 27 年 6 月定例会で、今の市長の任期中は、副市長の退職金を廃止することが決定。特別職の退職金で唯一残っていた「副市長」について、やっと一時的にでも廃止することができました。

しかし今年 3 月議会の予算審査等特別委員会で、新たに更新される教育長の退職金を無くす案（議案第 48 号）に賛成したのは酒井だけで、再び教育長の退職金が復活してしまいました。再び全特別職の退職金を廃止するため、酒井は戦います。

## 学童保育（バンビーホーム）の 午後 7 時までの時間延長を実現！

酒井は厚生委員会や観光文教水道委員会で、学童保育の部屋の狭さの問題、保育時間の延長、宅配弁当の必要性等を度々訴えてきました。

特に奈良県は全国一、県外就労率が高く、保育時間の延長が重要です。

平成 26 年 9 月定例会で仲川市長は、補正予算案に、学童保育の開所時間を午後 7 時まで延長する案を盛り込まれました。

酒井は喜んで保護者の皆さんに知らせ、皆さんも大喜びされました。

ところが議会内は、酒井と改革新政会以外の全会派が、反対か保留の態度を示しているとの報道もありました。

酒井は保護者の皆さんに状況を逐一報告。保護者の皆さんは緊急会議を開催。運動会等で来賓に来られた議員らを直接説得する行動に出られました。

9 月 29 日、予算決算委員会で酒井は、バンビーホームへの様々な誤解を解こうという決意で登壇、発言。

異例に長い休憩の後、再び予算決算委員会が再開。補正予算案に対する修正案が中西委員外 7 名の委員より提出。補正予算案の中から数件の事業を削る案で、削られる予定だった数件の中から、バンビーホームの案だけが外されていきました。

9 月定例会最終日、バンビーホームの午後 7 時までの時間延長案は無事、原案通りに可決されたのでした。